急ぐ時こそ安全な道路利用を

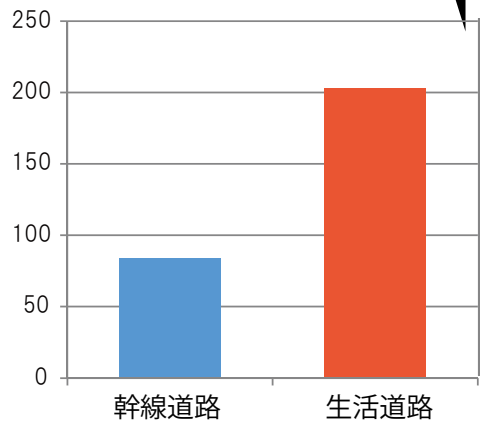
生活道路は危ない！

ご存知でしたか？こんなに違う安全性！

幹線道路と生活道路の比較で

幹線道路は生活道路の３倍安全

死傷事故率
[件/ 億台キロ]



出典：国土交通省資料

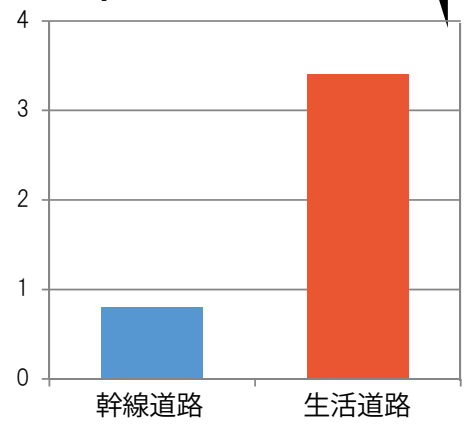
事故を起こす可能性：
混んでいても幹線道路を利用することで事故を起こす可能性を減らすことができます。

死傷事故率とは，１億キロメートル走る間に人身事故を起こす平均的な回数を示しています．
例えば，死傷事故率が約200[件/億台キロ]の道路(生活道路)を10,000km走った場合に人身事故を起こす可能性は，およそ2%です．

生涯で交通事故を起こす回数は

幹線道路利用では０.８件
生活道路利用では３.４件

生涯で事故を引き起こす件数
[件/ ３０年]



算出：愛媛大学大学院理工学研究科吉井研究室

一生涯で事故を起こす可能性：
毎日クルマを利用すればいずれ事故が起きます。
より安全な経路を選びましょう。

松山市内で10Kmの距離を通勤する人が，一生涯30年間毎日通勤すれば，幹線道路を利用すると0.8件程度，生活道路を利用すると3.4件程度の人身事故を起こす可能性があります。

平成30年秋，カーナビで「低事故リスク経路案内」実験を始めます！

平成30年10月1日～12月31日の3ヶ月間

モニター期間中のアプリ使用料無料！さらに愛媛大学オリジナルグッズをプレゼント

モニター募集！

定員・締切日
100名(申込順，締め切り日：平成30年9月30日(日))

モニター参加条件
次の条件をすべて満足し，モニター調査にご協力いただける方
① スマートフォン(iOS, Android)でカーナビアプリを利用してもよい方
② 松山都市圏に居住または勤務先がある方で普段車を利用される方
③ E-Mailを利用できる方

モニターの仕事
カーナビアプリ「NAVITIMEドライブサポーター」をダウンロードして，クルマ利用時に利用していただきます。
また，モニター調査開始時と終了時にアンケートにお答えいただきます。

申し込み方法
モニター申込先にアクセスしていただき、必要事項を入力して応募してください。または，氏名，性別，年齢，自宅住所，勤務先住所，連絡先(普段ご利用の電話番号)をご記入のうえ，E-Mailで下記にお申込みください。
モニター申込先：http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~keikaku/jste/accidentrisk_matsuyama/monitor/
E-Mail(問合せ先)：accidentrisk@cee.ehime-u.ac.jp

そ　の　他
研究会の活動やモニター募集の詳細は，下記からご覧ください。
http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~keikaku/jste/accidentrisk_matsuyama/

交通工学研究会 自主研究 交通事故リスクマネジメントに関する研究グループ
(松山都市圏交通事故リスクマネジメント研究会：愛媛大学，高知工科大学，国土交通省松山河川国道事務所，愛媛県警察本部，NEXCO西日本四国支社，(株)交通システム研究所，(株)アイ・トランスポートラボ，(株)オリエンタルコンサルタント，復建調査設計(株)，西日本高速道路エンジニアリング四国(株))